

福岡市少林寺拳法協会

【設立年月日】

2005（平17）年4月 1日

【加盟年月日】

2006（平18）年3月24日

【歴代会長】

2005（平17）年 安川 哲 史

【歴代理事長】

2005（平17）年 佐藤 健 二

2010（平22）年 浦 一

【沿革】

福岡市少林寺拳法協会（以下市協会）は2005（平成17）年に設立され、翌2006（平成18）年に福岡市体育協会に加盟しました。加盟団体としては最も新しいものの一つです。

福岡市内の大学支部を含めた22道場、約720名で構成されています。

これまでは福岡市内の少林寺拳法の支部は福岡県少林寺拳法連盟（以下県連）の中で2～3のブロックにまとめられていましたが、福岡市の団体としての組織化はされていませんでした。

県連は84道場、約3千名で構成されていますので、その中で市協会は最大の下部組織です。

少林寺拳法全体としては、SHORINJI KEMPO UNITY、少林寺拳法連盟、専門学校禅林学園等、



の5つの団体が組織され、現在では世界34か国、2900支部に広がっています。

そもそも少林寺拳法は1947（昭和22）年に戦後間もない日本において、創始者宗道臣（開祖）が「平和で豊かな社会を築くために、社会で役に立つ人間を育てたい」という志を持ち、創り出した人づくりのシステムです。

その2年前1945（昭和20）年、太平洋戦争の戦時下に中国東北部にいた開祖は国家や民族の利益が優先し、力だけが正義であるような国際政治の厳しい現実を目の当たりにしました。その中で開祖は、物事は影響力のある立場に立つ人の人格や考え方によって大きな差があることに気付き「人、人、人、すべては人の質にある」と悟りました。「すべてが人によって行われるなら、本当の平和は、正義感と勇気と慈悲心の強い人間を一人でも多く育てる以外にない」と気付いたのです。そして「志のある青少年を集め、道を説いて正義感を引き出し勇気と自信と行動力を養わせて、祖国復興に役立つ人間を育成しよう」と決心しました。

帰国した開祖が見たものは、敗戦下の混乱する日本の姿でした。道義も人情もすたれ日本人同士がいがみ合い、不正と暴力が横行する社会で、青少年も大人たちも国民の大多数が将来の希望もなく右往左往していました。そこで開祖は、中国在往時に学んだ拳技を整理、再編し、創意工夫を加え一人ひとりが楽しみながら技法を習得できるような新しい技術体系をつくり、自宅を道場とし、拳技を教えると同時に自分の人生観や世界観を説いたのです。拳技を中心とした人づくりのはじまりでした。こうして人間の心身の改造と平和的手段による社会変革を目指し、人づくりと平和で物心ともに豊かな社会の実現を目的に、開祖によって少林寺拳法が創始されました。

このように少林寺拳法は、ただ単に腕力の強い人や技の上手な人をつくるために創始されたものではありません。少林寺拳法の修行を通じて、人間は育つ可能性を有する種子であるということを信じ、健康な肉体と不屈の勇気と円満な人格を得て、個人が幸福な人生を送れるように、そして同時に平和で豊か

な社会を実現するために積極的に行動していける勇氣と情熱、しっかりとした考えと正義感あふれた真のリーダーを育成します。少林寺拳法の拳士は、自己の信じる生き方ができる人間、主体性を持った生き方ができる人間、他人の幸せを考えて行動できる人間、連帯し協力し合う生き方ができる人間になることを目指します

少林寺拳法の主な技法体系の特徴としては剛柔一体があります。剛法という突き蹴り等と、柔法という抜き技、逆技、投げ、固め技等をバランス良く学びます。これは実際の護身の場面では、剛法だけ柔法だけでは対応できないことも多いからです。

また修練体系の特徴として、主に乱捕りと演武があります。このように少林寺拳法は偏らず楽しみながら稽古をして行きます。



【現在の活動】

2006（平成18）年に福岡市体育協会に加盟し、その年の体育の日に博多の森競技場で開催されました市民総合スポーツ大会開会式のアトラクションとして約200名で団体演武を披露させて頂きました。

同じく2010（平成22）年の体育の日に平和台競技場で開催された市民総合スポーツ大会開会式でもアトラクションとして約170名で団体演武を披露させて頂きました。

毎年の恒例行事としては、市民総合スポーツ大会の秋の大会として「福岡市少年少女錬成大会」を福

岡市九電記念体育館で開催しています。この大会は、主に中学生以下の拳士を対象に、勝敗にこだわることなく日頃の修練を発表する場として、研修も行い、各支部間や保護者も含めた交流を目的に楽しく開催しています。

また市民総合スポーツ大会開会式には毎年多数の拳士が参加していますが、その日の午後は福岡医療専門学校の武道場をお借りして、高校生、大学生、一般の拳士を対象により専門的な研修を行い、ここでも各支部間や高段者の指導者との交流を図っています。

また要請があれば、博多どんたく港祭りやその他公的な行事のアトラクションに演武披露として参加したり、老人ホーム等への慰問や、公園や公共施設の清掃等のボランティア活動も定期的に行っています。

■本協会主催の大会等

- ・ 福岡市少林寺拳法少年少女錬成大会
- ・ 福岡市少林寺拳法合同稽古